

令和7年 地域の障害児支援体制の状況及び基本要件に関する取組の状況

セレン学園	
該当する中核機能強化加算*1	中核機能強化加算Ⅲ
外部の評価機関による外部評価 または、第三者が参画する形で自己評価	実施済み
同施設内で指定を受けているサービス種類	相談支援事業所 保育所等訪問支援事業
同法人内で指定を受けているサービス種類	障害者支援施設(入所) 就労継続支援B型 放課後等デイサービス 生活介護 特別養護老人ホーム 日中サービス支援型GH 他

*1 基本要件と体制要件のすべてを満たしている場合、「中核機能強化加算Ⅰ」を算定可能。

1. 公表内容(詳細)

項番	取組	詳細	項番	取組	詳細
1	市町村及び地域の関係機関との連携体制	市川自立支援協議会『こども部会』『障害児支援協議連絡会』の幹事会と連絡会に参加。また、『児童発達支援センター等連携会議』に参加し、関係機関との連携を行っている。	4	インクルージョンの推進体制	小学校へ移行した児童に対して、スムーズに移行できるよう保育所等訪問支援事業を活用。併設のセレン保育園との交流会や合同の行事もインクルージョン推進の場となっている。
2	幅広い発達段階及び多様な障害特性に応じた専門的な発達支援及び家族支援を提供する体制	保育所等訪問支援事業にて、幼稚園、小学校に言語聴覚士・作業療法士が訪問し、授業の様子を観察、先生や保護者へ特性に合わせたアドバイスを行っている。	5	支援の入口としての相談機能を果たす体制	障害児相談支援事業において、療育を利用する際の相談に対して受給者証の取得方法やサービスを利用する流れについて説明を行っている。
3	地域の障害児通所支援事業所との連携体制	市川自立支援協議会『障害児支援協議連絡会』の幹事となり、連絡会の計画や市川市児童発達支援・放課後等デイサービス合同説明会の運営に携わった。	6	全従業者を対象とした年間の研修計画	法令遵守と倫理、身体拘束等適応化研修、虐待防止研修、専門職による研修(摂食・備食について)、感染症に関する研修、BCP研修、アセスメントの方法、姉妹園での研修等

2. 概要(取組1～5について)*2

*2 表番号は、「1. 公表内容(詳細)」における、各取組に付随した番号についての内容であることを示す。

参加会議名	参加回数
市川市自立支援協議会こども部会 幹事	3回
市川市自立支援協議会障害児支援連絡会 幹事	8回
児童発達支援センター等連携会議	3回

事業等	状況	実施回数
地域障害児支援体制強化事業	未実施	
障害児等療育支援事業	実施	
事業所等が参加できる研修会	未実施	
事業所を参集しての情報共有の場	未設定	
事業等	状況	対象者数
事業所間連携加算(Ⅰ)の算定 *コア連携事業所として	未実施	

項目	状況
障害児相談支援の指定	有
障害児相談支援の契約数	81件
相談支援専門員の数	1人
主任相談支援専門員の有無	無
協議会への定期的な参画の有無	有

項目	状況
専門職の配置	有
看護師	有
心理職	有
言語聴覚士	有
理学療法士	有
作業療法士	有
家族支援加算の算定	有
保育所等訪問支援実施数	12回

事業等	状況	実施対象者数
保育所等訪問支援契約		2件
児童発達支援と保育所等の併行通園		6人
保育・教育等移行支援加算(退所後)の算定	無	
保育・教育等移行支援加算(退所前)の算定	無	